

## 令和元年度 上ノ国町日本海グリーンベルト構想推進協議会の活動



令和元年度、上ノ国町日本海グリーンベルト構想推進協議会では、例年どおり「豊かな海づくりのための植樹祭」を開催しました。

苗木は、平成30年10月に地元で採取した種から、通称「宮脇ポット」の利用によるポット苗づくりを実施し、約1年間の養生期間を経たものです。

上ノ国町においては、横浜国立大学名誉教授・(財)地球環境戦略研究機関国際生態学センター長 宮脇 昭氏が提唱する「その土地本来の自然の力に期待して本物の森の回復を目指す潜在自然植生」の考え方を参考にしながら、住民自らの手により採取した種子、ドングリ（カシワ、ミズナラ等）により森林を復元させる取り組みを行っています。

- ・開催日時：令和元年10月10日（木）10：00～
- ・開催場所：上ノ国町字北村
- ・参加者数：約150名
- ・植栽樹種：ミズナラ、トチノキ、カシワ、クリ等
- ・植栽本数：約1,000本



開会の様子



上ノ国町グリーンベルト構想推進協議会会長挨拶



来賓挨拶（内田道議）



植樹場所へ移動する参加者



植樹説明を聞く参加者達



植樹の様子



植樹の終了した箇所から、稲わらでマルチング（被覆）



完了しました



最後にみんなで記念撮影